

▽ 平山 篤史 准教授 HIRAYAMA, Atsushi



学 科： 人間福祉

担当科目： 心理検査法・臨床面接法・動作法・グループアプローチ

心理学概論・基礎演習・心理学基礎演習・心理学専門演習

臨床心理基礎実習・グループアプローチ特論

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

- |  |             |
|--|-------------|
| ① 九州大学大学院人間環境学府博士課程単位取得後退学                             | ② 修士(人間環境学) |
| ③ 日本心理臨床学会、日本リハビリテーション心理学会、西日本心理劇学会                    |             |
| ④ 心理リハビリテーションキャンプ(障害児・者の宿泊集団訓練会;主に沖縄地区)の運営、および、スーパーバイズ |             |

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の 実践例		
1) 臨床面接法 I	2010年4月～8月	前期、3～4年次、形式：講義、専門科目、2単位、登録者数83人。 実践例：基礎知識の習得と事例を通じたディスカッション、学生のリフレクションペーパーの紹介で多様な視点での人間理解を学ぶ
2) 心理検査法 II	2010年9月～2011年2月	後期、2～4年次、形式：講義、専門科目、2単位、登録者数：36人 実践例：実際の検査器具を使用した実習を行い、検査技術、結果の読み取り、所見のまとめ方、倫理について学ぶ
3) 動作法	2010年4月～8月	通年、2～4年次、形式：講義。専門科目、4単位、登録者数45人。 実践例：実習を中心の講義を展開した。受講者

4) グループアプローチ	2010年9月～2011年2月	<p>のストレス反応の低減をねらいとしたプログラムで、体験的に援助技術を学ぶ。希望学生には学外の研修会へ一緒に参加する。</p> <p>後期、2～4年次、形式：講義、専門科目、2単位、登録者数38人。</p> <p>実践例：実習を中心の講義を展開した。受講者のシャイネス、対人不安傾向の低減をねらいとしたプログラムで、体験的に援助技術を学ぶ。</p>
5) 心理学概論	2010年9月～2011年2月	<p>通年のうち後期分を担当、1年次、形式：講義。専門科目。登録者数87人。</p> <p>実践例：心理学と日常生活を結び付ける視点を育てること、心理学への興味をもつことをねらい、視聴覚教材、日常生活での例を紹介しながら授業を展開。</p>
6) 基礎演習	2010年4月～2011年2月	<p>通年、1年次、形式：演習。専門科目。登録者数24人。</p> <p>実践例：心理学専攻同科目担当4教員と協議し、共通プログラムを実施。4つのつながり(ヨコ・タテ・学問・社会)を重視したプログラム。</p>
7) 心理学基礎演習	2010年4月～2011年2月	<p>通年、2年次、形式：演習。専門科目。登録者数15人。</p> <p>実践例：心理学専攻同科目担当5教員と協議し、共通プログラムを実施。心理学の研究法(実験・調査・観察)の基礎を身につけるプログラム。</p>
8) 心理学演習	2010年4月～2011年2月	<p>通年、3年次、形式：演習。専門科目。登録者数15人。</p> <p>実践例：論文精読と卒業論文に向けた研究目的の設定を行う。ゼミ内でのディスカッションを積極的に行う。</p>
9) 卒業論文演習	2010年4月～2011年2月	<p>通年、4年次、形式：演習。専門科目。登録者数12人。</p> <p>実践例：卒業論文の作成。ゼミ内でのディスカッションを積極的に行う。</p>

<p>10)臨床心理基礎実習</p>	<p>2010年4月～2011年 2月</p>	<p>通年、大学院修士1年、形式:演習。専門科目。 登録者数5人。 実践例:ロールプレイングにより心理面接の基本的考え方、態度、技法を身につける。</p>
<p>2. 作成した教科書、教材、 参考書</p>		
<p>1)臨床面接法Ⅰ</p>	<p>2005年10月～現在</p>	<p>パワーポイントと、穴埋め式の配布資料を、毎年、毎回実施するリフレクションペーパーを参考に改善する。学生の身近なテーマを設定し、ディスカッションを行う。</p>
<p>2)心理検査法Ⅱ</p>	<p>2005年10月～現在</p>	<p>心理検査を行う際に身につけなければならない基本的態度、倫理、知識、技術についてのポイントを絞った配布資料や、架空事例を作成し、実践的な学習ができるような工夫をしている。</p>
<p>3. 学生支援活動</p>		
<p>1)学生支援 入学前オリエンテーション</p>	<p>2006年4月～現在</p>	<p>同専攻教員と連携し、年に2回の合格者の集いを開催。大学入学後のスムーズな適応と入学前課題の指導を行う。</p>
<p>学習不振者・出席状況不振者に対する面談</p>	<p>2006年4月～現在</p>	<p>呼びかけを行い個別に相談する。必要であればキャンパス相談室、学外医療機関の情報提供を行う。</p>
<p>ゼミ長会議の開催</p>	<p>2010年4月～現在</p>	<p>オープンキャンパスや入学前オリエンテーションなどの学内行事への協力を依頼し、教員と協働して企画、実施する。学生のタテ・ヨコのつながりを促進し、専攻に対する所属感、親和性を高めることにも影響している。</p>
<p>ゼミにおけるグループワークの実施</p>	<p>2006年4月～現在</p>	<p>担当ゼミで実施し、メンバー間の交流を促し、凝集性を高め、大学生活への適応を促す。</p>
<p>キャンパス相談室運営委員</p>	<p>2011年～現在</p>	<p>キャンパス相談に関するシステム作りと相談員に対する助言</p>

<b>2)キャリア支援</b> <b>就職・進路についての相談</b>	2006年4月～現在	学生の希望に応じて、個別面談を行う。
<b>4. 学外での主な活動</b>		
<b>1)沖縄県臨床心理士会理事</b>	2007年6月～2011年5月	財団法人日本臨床心理士資格認定協会認定の「臨床心理士」の県内職能団体
<b>2)沖縄県臨床心理士会事務局長</b>	2011年6月～現在	同上
<b>3)琉球大学保健管理センターカウンセラー</b>	2006年1月～現在	学生相談への従事 学会運営
<b>4)心理リハビリテーションキャンプ実行委員</b>	2006年7月～現在	沖縄県で開催される心理リハビリテーションキャンプおよび動作法月例会における運営をおこなう。
<b>5)心理リハビリテーションキャンプスーパーバイザー</b>	2003年3月～現在	日本リハビリテーション心理学会認定のスーパーバイザー資格者として、沖縄県で開催される心理リハビリテーションキャンプおよび動作法月例会での動作法研修会およびスーパーバイズを行う。
<b>6)西日本心理劇学会理事</b>	2008年2月～現在	
<b>5. 教育改善活動</b>		
<b>1)授業評価アンケートの実施</b>	2005年10月～現在	毎年実施し、授業の改善に努める。
<b>2)リフレクションシートの実施</b>	2005年10月～現在	毎年、毎回の講義で実施し、授業の改善、質問への返答、学生間の意見の間接的な交換に用いている。
<b>3)FD会議</b>	2005年10月～現在	毎週開催される専攻の会議の中で、他教員と連携し、ゼミの合同プログラム、課題、資料の検討を行っている。

## 研究業績等

### 【 主要論文及び主要著書 】

『学部教育における心理劇の手法を用いたグループアプローチによる他者との関わりの変容』

平山篤史 沖縄国際大学人間福祉研究 2012 9巻(2)

『失語症をとまなう長期入院高齢者とのロールプレイを利用した面接過程—回想を用いた場面設定を用いた事例—』

平山篤史 心理臨床学研究 2005 23巻(6)

『ロールプレイ場面のテーマ・役割の認知が演者の体験に及ぼす影響』 平山篤史 心理劇研究 2005 28(2)

『慢性期統合失調症入院患者に対する対人交流の促進をねらいとしたロールプレイの導入課程—ロールプレイ課題の提示の仕方を工夫した事例—』 平山篤史 心理劇研究 2003 27(2)

『感情が爆発し対人関係のトラブルを繰り返すアスペルガー症候群の成人男性との面接』

平山篤史 地域文化論叢別冊心理相談室紀要 2007 2

『動作課題と自体感との関連性』 須藤系子・本田玲子・平山篤史 リハビリテーション心理学研究 2000 28巻

『発達の遅れを持つ思春期児童の仲間作りを促すグループセラピー』共著「軽度発達障害児のためのグループセラピー」

ナカニシヤ出版 2006年

## 研究分野

障がい高齢者に対する「役割」の活性化を目指した心理臨床学的援助についての研究

## 【Eメール・ホームページ等】

atsushi@okiu.ac.jp

平成 24 年 4 月 17 日現在